

人のうごき (50.8.1現在)	
男	15,560人
女	16,560人
計	32,120人
世帯数	7,734

晴れの新市議決まる

投票率九三・一八% これまでの最高

任期満了に伴う勝山市議会議員選挙は、八月十日市内二十三投票所において投票が行われました。この日は朝早くから各投票所は出足好調、最も身近な選挙とあって投票率も前回の九二・四八%を〇・七〇%上回る九三・一八%で、市議会議員選挙が大選挙区制になってから最高の投票率となりました。

開票は即日開票で同日午後七時三十分から市民会館において開かれ、十一日午前一時最終確定、新しい二十六人の市議会議員が誕生しました。当日の有権者数は二万二千六十七、投票総数二万五千六十三、うち有効投票二万四千三十七、無効投票百二十五でした。

当選者の党派別、民社二、無所属二十四、新別一、現二十、新五、元一
当選された方々は次のとおりです(五十音順・敬称略)

 池内敏雄 59 無所属 現 鹿谷町保田 当選5回	 石田巳代治 57 無所属 現 鹿谷町東遼羽口 当選5回	 今井三右衛門 44 無所属 現 郡町二丁目 当選3回	 小林広 69 無所属 現 北郷町志比原 当選4回	 鹿吉一 47 無所属 新 北郷町西砂金島 当選1回	 石倉清治 59 無所属 現 沢町二丁目 当選4回	 大平松三 56 無所属 新 米町四丁目 当選1回	 島田善也 55 無所属 現 荒土町布市 当選2回
--	---	---	--	--	---	--	---

残暑お見舞い申し上げます。日ごは市政発展のため、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、広報二二九号(七月二十八日発行)に当市の財政再建が完了しましたことをご報告申し上げましたが、当初計画より五年短縮して完了いたしましたことは、市民各位の市政に対する深いご理解とご協力の賜ものと心から感謝申し上げます。

昭和四十三年三月、自治大臣から地方財政再建促進特別措置法の準用団体の指定を受けましたことから、財政再建と教育福祉都市を目指し、市職員はもちろん、

市民各位の絶大なるお力添えをいただき市政を担当いたしました。その間、市民生活環境の整備をはじめ、教育施設の増設、力化に努力いたしました。その結果、経常収支比率も四十九年度に六四・七になり、全国類似団体の六九・二を大きく下



財政再建を終えて

市長 高野春三

統合中学校計画の完了、都市計画事業、農林業構造改善事業、老人医療無料化等の福祉拡大など、どれもが住みよくなる町づくり、を目標に諸事業を行いました。これまでも市民各位には何かと不便、ご迷惑をおかけいたしましたことも多くあったと存じます。

しかしながら、財政再建が終ったと申ししても、最近の経済諸情勢は一層きびしく、国、地方を問わず財政の硬化化が目立っているなかでの財政運営は極めて苦しい局面を迎えております。

従いまして、財政再建終了後も決して油断することなく、この体験を踏まえ、更に慎重に健全な財政運営に力を注ぎ、市民福祉向上のための行政を積極的に推進いたしてまいらる覚悟であります。

今後とも一段のご協力をお願いします。

 武内盛直 51 無所属 現 平泉寺町平泉寺 当選3回	 松山一男 54 無所属 現 元町三丁目 当選4回	 四谷与一 66 無所属 現 遼羽町蓬生 当選5回	 白野善次郎 57 無所属 現 芳野町一丁目 当選3回	 松村守蔵 59 無所属 新 野向町聖丸 当選1回	 横山定衛 41 無所属 新 荒土町別所 当選1回	 島田善也 55 無所属 現 荒土町布市 当選2回	 本町二丁目 57 無所属 現 当選3回	 山内富栄 64 無所属 元 平泉寺町大矢谷 当選4回	 鹿谷町保田 59 無所属 現 当選5回	 鹿谷町保田 59 無所属 現 当選5回	 山内清 50 無所属 現 鹿谷町本郷 当選2回	 斎藤七左エ門 55 無所属 現 北谷町河合 当選2回	 廣田直治 52 民社党 現 米町一丁目 当選3回	 山内秋雄 63 無所属 現 毛屋 当選2回	 齋藤貞夫 42 無所属 現 遼羽町蓬生 当選2回	 西出滋 55 無所属 現 野向町聖丸 当選4回	 水上晟 52 無所属 現 荒土町細野口 当選2回
---	---	---	--	--	--	--	---	--	---	---	---	---	---	--	--	---	--

市財政建てなおし成る

市の財政事情を毎年二回、市民のみならずにお知らせしていますが、今回は昭和四十九年度決算と財政再建計画の実施状況を公表します。

★一般会計決算と財政再建計画の実施状況

昭和四十九年度の最終予算額は、三十億九千七百十万円です。

この予算額に対する収入額は三十億六千九百四十万円、支出額は三十億六千二百二十七万円、収支差引八百十三万円の黒字決算になりました。これにより前回の広報でお知らせしましたように、昭和四十二年度以来八か年でもって財政再建計画が完了しました。なお年度内に支出ができなかった荒土一号线道路改良工事八百三十万円を五十年度に繰越しました。

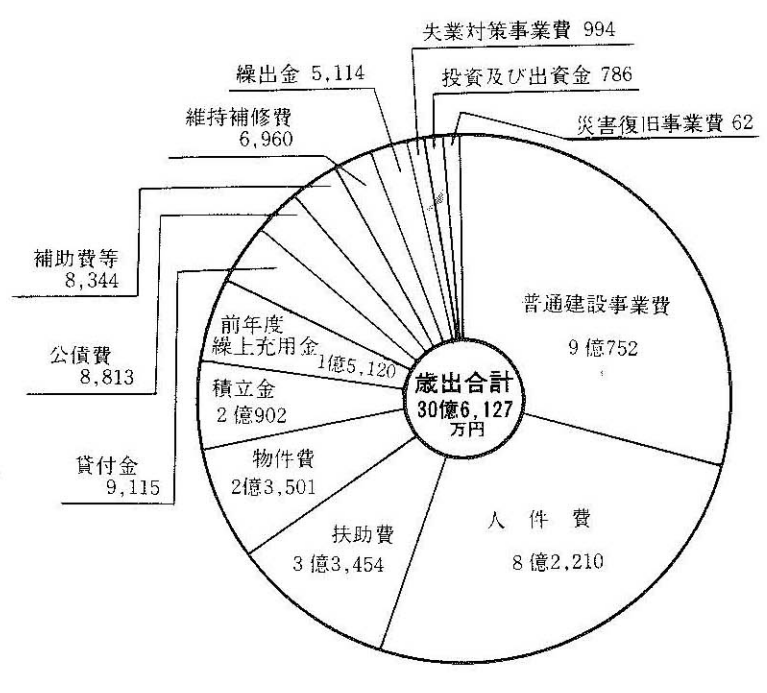
この収支決算の状況、各款別性質別の収入支出の内訳は、二表のとおりです。

昭和49年度 財政状況の公表

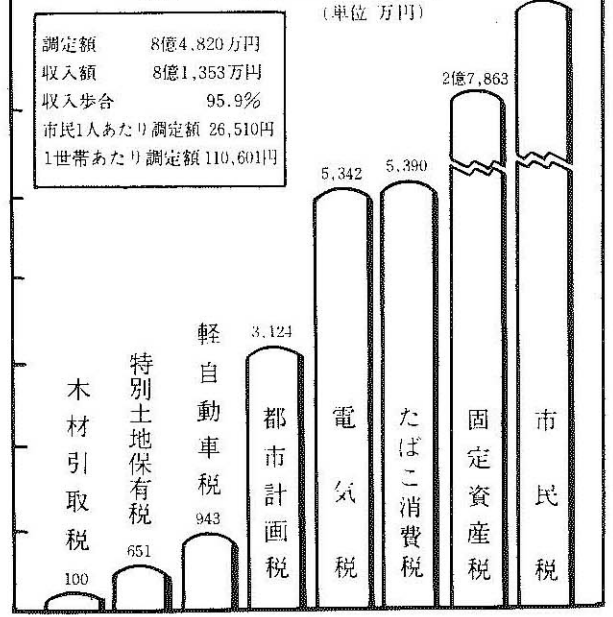
1 表 49年度一般会計決算状況 (単位：万円)

歳入	決算額	構成比	歳出	決算額	構成比
市税	8億1,353	26.5	議会費	4,471	1.5
地方譲与税	2,165	0.7	総務費	5億6,233	18.4
自動車取得税	3,814	1.2	民生費	5億1,794	16.9
交付税	9億7,134	31.6	衛生費	7,150	2.3
交通安全対策特別交付金	311	0.1	労働費	1,417	0.5
分担金及び負担金	5,377	1.8	農林水産業費	3億 324	9.9
使用料及び手数料	5,934	1.9	商工費	9,550	3.1
国庫支出金	3億6,870	12.0	土木費	4億9,639	16.2
県支出金	2億4,717	8.1	消防費	8,875	2.9
財産収入	6,597	2.2	教育費	5億7,906	18.9
寄附金	763	0.2	公債費	8,817	2.9
繰入金	1億6,685	5.4	前年度繰上充用金	1億5,120	4.9
諸収入	1億4,977	4.9	諸支出金	4,769	1.5
市債	9,680	3.2	災害復旧費	62	0.1
繰越金	563	0.2			
計	30億6,940	100.0	計	30億6,127	100.0

2 表 一般会計性質別決算の状況 (単位：万円)



3 表 市税の収入状況 (単位：万円)



4 表 特別会計の決算状況 (単位：万円)

区分	収入済額	支出済額	差引残額
市有林造成事業	1,921	1,921	0
簡易水道事業	5,470	5,736	△ 266
国民健康保険事業	37,361	35,682	1,679
同鹿谷直営診療所	778	786	△ 8
土地区画整理事業	17,483	22,556	△ 5,073
農業共済事業	3,520	2,611	909

特別会計公債の状況 (単位：万円)

区分	現債額	借入先	利率
市有林造成事業	9,250	農林漁業金融公庫	3.5~5.0%
土地区画整理事業	8,207	公営企業金融公庫 福井銀行	7.5~8.05% 7.4~8.6%
簡易水道事業	5,909	資本金運用部局 簡易保険	6.5~8.0%

★経費の効率化と節減

増大する行政需要に対して、最小の経費で最大の効果をあげることを目標に、人員増を避けて欠員補充のみにとどめ、極力

★その他の収入

地方交付税は、前年度に比べて二八・一％増加し、市税収入額は前年を上回りました。自動車関係の重量課税及び取得税交付金は五六・一％と前年度に比べて大幅に増加しました。その他、県支出金・市債などの収入確保に努めました。保育所保育料は、国の基準の改正に伴い、また道路占用料など一部をやむを得ず引き上げましたが、その他の公共料金はすえ置きました。

人のなご一層の協力を願います。

人件費の抑制に努めました。需用費、旅費などの物件費は冗費の節減をはかり事務の効率化に努めましたが、一昨年末の物価高騰のため三四・〇％と大幅な増加となりました。老人医療などの老人福祉、保育所、児童手当、審議児童医療などの児童福祉、そして生活保護等の社会福祉の充実に努め前年

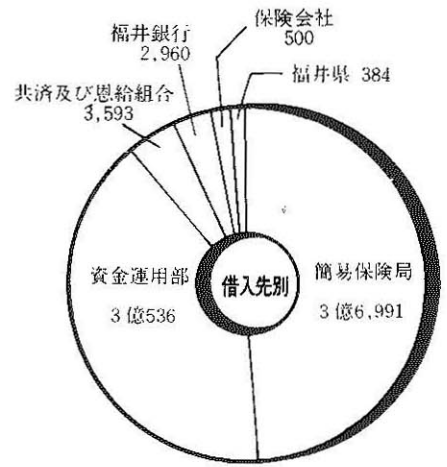
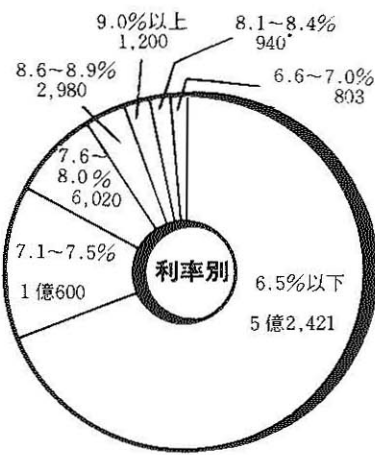
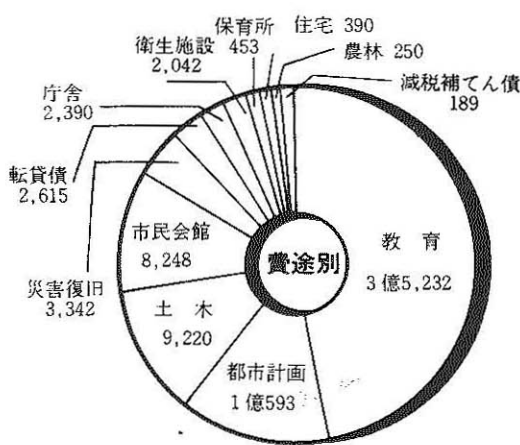
★建設事業の充実

国の公共事業抑制政策とあわせて、市の単独事業は重点化して建設事業を行いました。市道改良舗装、都市計画、平泉寺小、荒土小細野分校、中部中屋内体育館の増設、第二次農業構造改善事業などの公共施設の整備拡充を推進した結果、九億三千二百十九万円と前年度対比三億一千五百円の増加となりました。

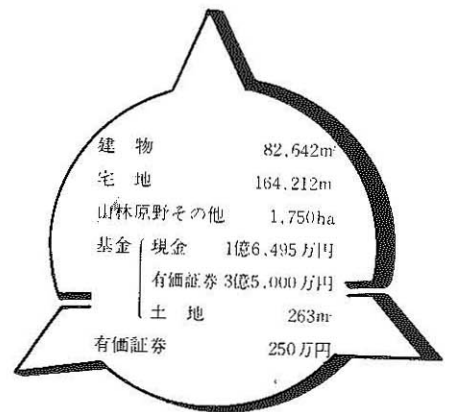
度と比較して三九・七％増加しました。

5表 公債の状況

市債総額 7億4,964万円 (49年度末)



6表 市有財産の状況



- 都市計画事業
 - 一億二千三百七十三万円
 - (保川下水路、立石線等街路築造、南部第二公園、立川第一公園、公共下水道調査、土地区画整理事業補助金等)
- 河川水路改良
 - 二千三十二万円
- 交通安全施設
 - 三百五十八万円
- 農林業振興
 - 二億五千三百五十五万円
 - (第二次農業構造改善事業、土地改良、ほ場整備事業補助金、林業構造改善事業、幹線林道改良、小原・法恩寺広域基幹林道負担金)
- 商工観光
 - 四百六十万円
 - (雁が原キャンプ場、中ノ平山小屋整備)
- 消防施設
 - その他 八百四十万円
 - (上野保育園、遅羽へき地保育所、労働福祉会館等建設補助金)
- 中学校整備
 - 九千二百三十二万円
 - (中部中学校屋内体育館増築、南部中学校グラウンド、南部中学校水路敷地造成等)
- 公民館整備
 - 四千七百六十六万円
 - (鹿谷公民館改築、荒土・北郷公民館前舗装)
- 失業対策事業
 - 九百九十四万円
- 公共用地購入
 - 四千七百六十九万円
 - (京福線廃線敷地、滝波土地区画整理地内の保留地購入等)

主な事業は、次のとおりです。
 道路整備 二億三千二百五十七万円
 (市道改良舗装、橋りょう改良、国道道改良負担金)
 七千五百八十八万円
 (防火水槽新設、消防ポンプ積載車、小型動力ポンプ等)
 小学校建設 八千七百五十万円
 (平泉寺小学校校舎、荒土小細野分校校舎、屋内体育館改築等)
 中学校整備 九千二百三十二万円
 (中部中学校屋内体育館増築、南部中学校グラウンド、南部中学校水路敷地造成等)
 公民館整備 四千七百六十六万円
 (鹿谷公民館改築、荒土・北郷公民館前舗装)

助金(住宅、幼稚園整備、災害復旧事業)
 ★赤字解消
 本年度の赤字解消計画額は一億円でしたが、決算をした結果更に五千二百二十万円も多く解消することができ、合計一億五千二百二十万円の赤字を全額解消することとなりました。この結果、前にも述べましたように、四十九年度でもって五十年度赤字解消計画額を全額繰り上げ解消して、ここに全市民念願の財政再建が完了しました。
 これまでの市民のみならずの絶大なるご協力で深いご理解に心より感謝いたします。
 なお四十九年度だけの単年度実収支は、一億五千八百七十四万円の黒字となつて経常収支比率も六四・七%と昨年に引き続いて財政構造が改善されました。

★特別会計
 国民健康保険などの特別会計の収支決算の状況は、四表のとおりです。

★財産と公債
 昭和四十九年度末の市債現在高は、一般会計七億四千九百六十四万円、特別会計二億三千三百六十六万円となっております。一般会計についての目的別、利率別、借入先別の内訳は五表のとおりです。市の財産の状況については、六表を参照ください

以上が昭和四十九年度の市の財政のあらましです。本年度をもって財政再建は終了しましたが、今後も健全財政を堅持しながら

区分	49年度	48年度との比率	区分	49年度	48年度との比率
収益的収入及び支出	千円	%	貸借対照表	千円	%
水道事業収益	62,956	112.6	資産合計	255,985	100.6
うち給水収益	56,024	107.6	うち 固定資産	228,207	108.7
水道事業費用	63,199	135.0	うち 流動資産	27,778	62.5
うち支払利息	9,106	97.0	負債資本合計	255,985	100.6
資本的収入及び支出			うち 固定負債	1,100	220.0
資本的収入	12,674	97.1	うち 流動負債	5,171	43.5
うち 出資金	3,680	28.2	うち 資本金	224,281	103.9
うち 寄付金	8,994	-	うち 剰余金	25,433	96.8
資本的支出	33,319	88.4	給水戸数	4,385戸	103.3
うち 建設改良費	28,534	84.6	給水量	1,601千立方	111.1
うち 企業債償還金	4,785	121.3			

昭和49年度 水道事業の公表

市民のみならずの二期待に添うよう努力し「明るく豊かな住みよい町づくり」のため、積極的諸施策を推進する方針です。

昭和三十九年度の水道事業は、損益収支において収益は、昨年

度と比較して二・六%増の六千二百九十五万六千二百三十九円、一方費用については極力経費の節減に努力しましたが、昨年度よりも更に各種資材および諸物価の高騰などから三五・〇%増の六千三百九十九万四千四百二十九円となり、その結果、二十四万三千九百九十円の損失を生じました。

資本投資としては、二千九十一万八千円で滝波土地区画内に六百八十五戸、毛屋地係に六百二十九戸、上後土地区画内に二百八十五戸の配水管を布設しました。なお、市街地周辺部各戸の井戸枯渇に伴う給水要望に対処するため、第四次拡張の認可を受けて、給水区域を拡大し新保地係を通じ松ヶ崎地区に配水管・補助管合わせて千六百九十八戸を布設、給水を行いま

は場整備事業および道路改良事業などによる水道管の移設に二百八十五万八千円を投じました。

給水状況は、前年度より約一〇・七%増の年間二百四十三万一千三百八十五立方メートルを給水、一日最大給水量九千九百五十五立方メートルと大幅な伸びを見ましたが、比較的円滑に給水することができました。

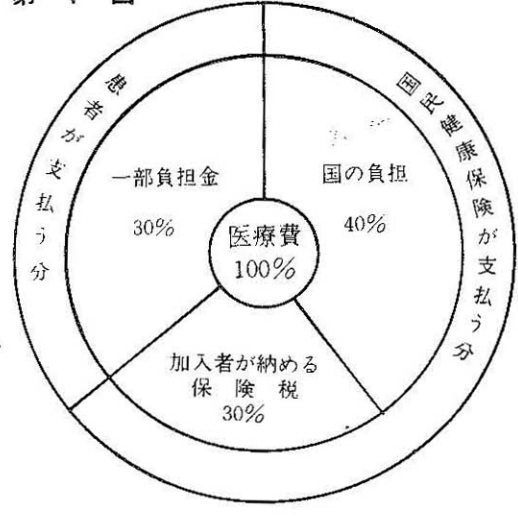
以上が概要ですが、本市の水道事業は過去数年間、健全財政を維持してきましたが、本年度において純損失が生じたことから、今後の運営には料金の改正を行わざるを得なくなり、やむなく市議会三月定例会において給水条例を改正、現行料金に改め、みなさんのご協力をおねがいした次第であります。

四十九年度の水道事業の概要はつぎのとおりです。



保険税 1人1万6千円納めて 4万円のお返し 医療費

第1図

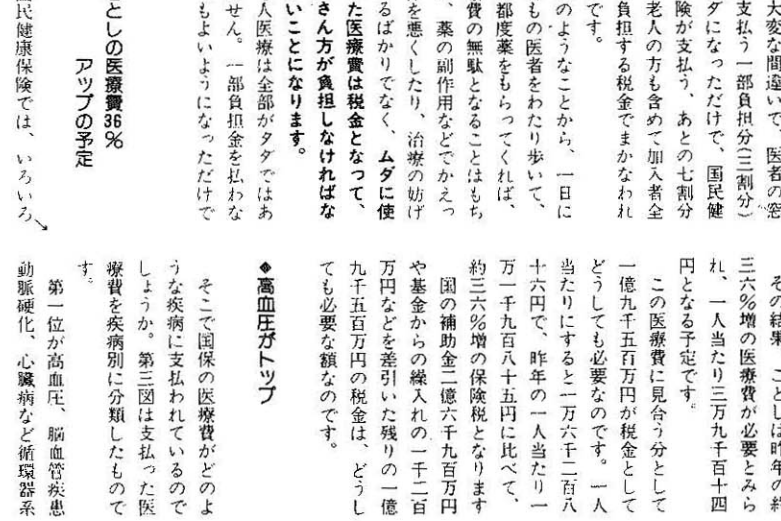


◆国保は医療費の七割を負担
 第一図をご覧ください。患者が病院の窓口で支払うのは医療費の三割だけです。この患者負担の部分を無料化したものが、老人医療なのです。残りの七割は国民健康保険から支払われるので、これは国の補助金と加入

先月号の広報で、ことしの保険税の税率とどうして保険税が引き上げになるのかをお知らせいたしました。しかし、納税通知書がお手元に届きましたら、保険税が昨年の二倍にもなったという声を方々から聞きます。そこで一度、国民健康保険の実情をお知らせし医療費についてご理解いただきたいと思

◆47%も増える医療費
 医療費は、毎年増え続けています。もともと医療費は、毎年自然に10%から15%程度増えています。これは医療に対する関心が高くなり、医者にかかる率が多くなることや、医療の進歩やい

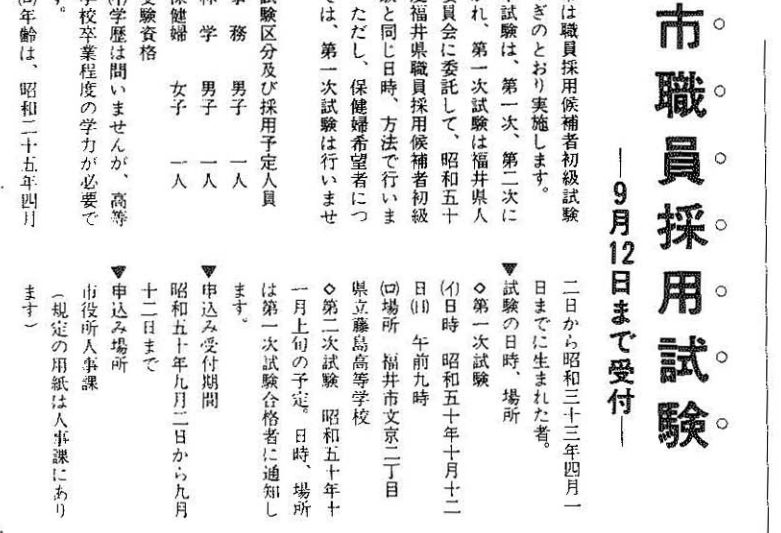
第2図



◆老人医療は三割分だけタダ
 老人医療の無料化についても、老人医療は、タダだと思っておられる人が大勢ありますが、こ

な角度から医療費の動向を調査して、ことし一年間どのくらいあつたら、みなさんの医療費の支払いができるかを計算して

第3図



◆保健婦に相談してください
 市役所には保健婦がおります。体のことならどんなことでも相談していただけます。

◆心かげひとつで安くて済む医療費
 医療費は、ちよつとした注意で安くできるものです。みなさん一人一人の心がけて、多額の医療費が節約できます。それが保険税を安くする唯一の道ではないでしょうか。

市職員採用試験

9月12日まで受付
 市は職員採用候補者初級試験をつぎのとおり実施します。
 本試験は、第一次、第二次に分かれ、第一次試験は福井県人事委員会に委託して、昭和五十年度福井県職員採用候補者初級試験と同じ日時、方法で行います。ただし、保健婦希望者については、第一次試験は行いません。

◆お問合わせは人事課へ
 局二二二二

◆消費者苦情相談
 欠陥商品、割賦販売など苦情がありましたら総務課へご相談下さい。 8-1111

モシモシおばあちゃん元気でちゆか?

遠くふる里をはなれて勝山で働いている人や勝山へ来て結婚した女性らに、家族たちとつる話をしてもらおうと勝山電報電話局(岡田長雄局長)と勝山ロータリークラブ(松村宇市会長)はお盆の十四日、市民会館ホールで、ふる里電話を開設、無料サービスしました。

久しぶりの母の声に涙ぐむ人も



ふる里電話で両親と会話する家族づれ
—市民会館ホールで—

織物のまち勝山も、織機不況が長引き、遠く県外から就職している女性や、また勝山で結婚して子どもをもつた人もあつたが、こころは旧盆の帰省も見合わず人が多く、このため、ふる里の家族や友達と話したり、孫の声を両親に聞かせてあげよう—と、カラオケ用シンセレホンなど五台を市民会館ホールに設置、午後一時から五時まで開放しました。

花火へドット一萬五千人

帰省客もまじりこれまでの最高



夏恒例の第二十一回勝山夏まつりは十五日・十六日の両日、九頭竜川右岸の弁天グラウンドに、設けられた夏まつり広場で華々しく繰り広げられ市民、帰省客、観光客約一萬五千人が納涼花火

大会にふるさとへの踊り大会にドット押し寄せました。十五日は午後二時から成器西小や南都中など五小・中学児童生徒三百五十人のブラスバンド、鼓笛隊が、市内目抜き通り約三キロを堂々と市中行進、暑さにも負けず懸命に演奏する児童生徒らに盛んに拍手をおくっていました。

特に三中学校のブラスバンドはお祭り広場に特設された舞台上で、それぞれのレパートリーを演奏、聴衆をうっとりさせていました。午後四時からは、のど自慢大会が開かれ、チビっ子も大人ものを競いあいました。夜に入って涼し

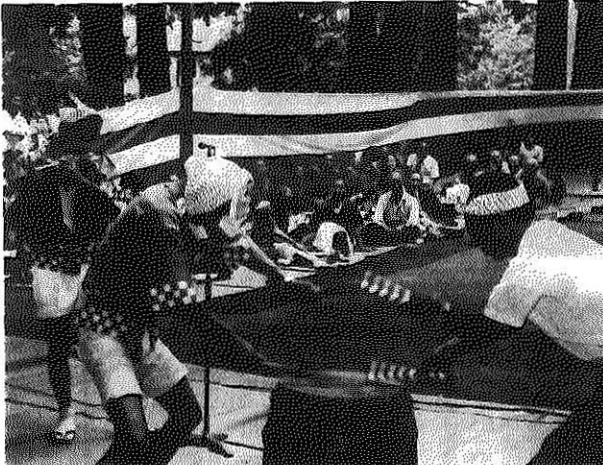


人もありました。中には集団就職した娘さんの仲人をしたという年配の人も姿を見せ「初めまして、わたしが仲人です。二人とも幸せにがんばって下さい。間もなく赤ちゃんが生れますよ」と知らせて「コマもありました」と知らせ「ふる里電話」を利用した人

野向町で青空敬老会

勇壮な曲太鼓「大日おろし」も披露

郷土の発展に長らく働いてこられたお年寄りをねぎらおうと野向町では八月十九日、町あげの敬老会が同町竜谷の竜谷公園で開催され、心づくしの料理やお酒、そして幼稚園や青年婦人らの余興を交し、お年寄りは大喜びでした。この日、同町に住む七十五歳以上のお年寄り六十人を招いて午前十時半から、杉木立に囲まれ、野を渡る風も心地よい竜谷公園で開かれ、同町山内区長会、池田市助役、石田市議会議員長らから祝辞があつたあと、民



紅白の幕が張りめぐらされた竜谷公園での敬老会
勇壮な曲太鼓に大喜びのお年寄りたち

交通事故防止に一役
道路に「止まれ」と表示
でんじり会の三十人が汗

自分たちの町内から交通事故を追放しよう—と栄町の社会奉仕グループ、でんじり会(木下潔会長、四十五人)は、このほど町内の道路にベンキで「とまれ」や「徐行」の表示をしました。



道路の表示に懸命の会員ら

たいまつ持って九百人が大師へ登る

一岡山ちようちん登山もにぎわう

勝山の夏の風物詩となつた大師山たいまつ登山は、八月十三日夜行われました。市民九百人が元気に参加、赤々と燃えるたいまつがふもとから頂上まで続き、真夏の夜を彩りました。この日、夕暮れ時には集合場所の成器南小グラウンドに、二歳の坊やから八十歳のお年寄りまでの老若男女が続々と集まりました。午後七時一斉に出発、登山口の片瀬区で長さ一桁の棒の先に空かんをつけたたいまつをこれまでにない九百人という人出だけに、たいまつは頂上へ延々と続き、壮観そのもの、ふもとで夕涼みの市民も思わず歓声をあげ大師山を見あげていま

県レクリエーション大会を 10月に勝山市で開催

「健康な日常生活とレクリエーション」をテーマに第二十五回福井県レクリエーション大会が来る十月四日(土)五日(日)の二日間、勝山市を会場に開催されることになりました。

二十五年を迎えた記念大会で主催は福井県教育委員会、福井県レクリエーション協会、勝山市、勝山市教育委員会、勝山市レクリエーション協会。

第一日目の十月四日は午後一時から市民会館で開会式、表彰式、記念講演、歓迎の夕、夜七時から合同体育館で民謡踊り大会とキヤンドルサービスが行われます。

第二日目の十月五日は午前九時から次の種目が行われます。

- オリエンテーリング大会
- ▽グループ方式 平泉寺周辺
- ▽徒歩方式 平泉寺周辺
- ▽個人方式 平泉寺周辺
- 集合場所は平泉寺小学校グラウンド(市役所前からバスが出ます。)
- 県民サイクリング大会
- ▽コース 市役所—寺尾—

- ▽歌って手足を動かそう
- ▽フォークダンス
- ▽老人レクリエーション大会
- ▽みる会、きく会、笑う会
- ▽楽しい体操
- ▽昔話に花を咲かせましょう
- ▽場所は精華高校体育館
- ▽フォークダンス大会
- ▽歌とゲーム
- ▽フォークダンス



火事場は危険!! 次のことを守ってください



7月25日本町1丁目で発生した火災現場

最近、火災等の災害現場へ自動車での駆け付けなどで、市民が多く集まるため、交通が混雑し、消防車の進入や消火活動にも支障がでています。

火災等の現場は、非常に危険です。警戒線の中には絶対に立ち入りしないでください。

10月1日 全国一せいに国勢調査

今年十月一日、全国一せいに国勢調査が実施されます。

この調査は、国が行う最も大規模で基本的な人口調査です。大正九年に第一回調査が行われてから(五年ごと)に実施し、今回で十二回を数えます。



今年十月一日、全国一せいに国勢調査が実施されます。

この調査のねらいは、人口構成などを調査し、社会福祉対策や人口問題の解決に役立つデータとするため、国はもとろん、県や市の行政の最も大切な資料となります。

今までの人口推移 (国勢調査)

年	総人口
昭和30年	37,556人
昭和35年	36,531人
昭和40年	34,828人
昭和45年	32,691人
昭和50年	?

調査がもれなく実施できますよう、市民各位のご協力を

ご用心!! 消火器の押売り横行

最近、消防署、防火センターなどの名をかたり、法律がかわって、一般家庭にも消火器を備えなければならないとなつたとか、消火器があるといつて見せると、「この消火器では、古すぎて間に合わない」と言葉巧みに押売りがまがいの訪問販売をする悪質業者が市内を横行し

従業員確保に 国の退職金制度を

すぐれた従業員の確保に役立つ退職金共済制度をおすすめします。

この制度は、中小企業にも、国の援助で大企業なみの魅力ある退職金が支給できるようにと、国から補

国民年金制度が改正されました

国民年金は、毎年、内容が改善されていきますが、今年もさきごろの国会で改正法律が成立して次のように充実した内容となりました。

表1 福祉年金の増額 (50年10月から)

種別	改正前	改正後
老齢福祉年金	90,000円(月額7,500円)	144,000円(月額12,000円)
障害福祉年金	1級	135,600円(月額11,300円)
	2級	90,000円(月額7,500円)
母子福祉年金	117,600円(月額9,800円)	187,200円(月額15,600円)
老齢特別給付金	66,000円(月額5,500円)	108,000円(月額9,000円)

表2 拠出年金の増額 (50年9月から)

年金種別等	改正前	改正後
老齢年金	10年年金	174,150円(月額14,512.5円)
	5年年金	111,456円(月額9,288円)
	一般(25年年金)	278,640円(月額23,220円)
	一般と附加年金(25年年金)	338,640円(月額28,220円)
障害年金	1級	348,300円(月額29,025円)
	2級	278,640円(月額23,220円)
母子準遺金	子等1人	278,640円(月額23,220円)
	子等2人	288,240円(月額24,020円)
有期年金の最低保障額	90,000円(月額7,500円)	144,000円(月額12,000円)

退職金額早見表

(一部の例を示したものです) ※国庫補助金を含む

掛金	1,000円	2,000円	3,000円	4,000円
納付月数				
1年(12月)	3,600	7,200	10,800	14,400
2年(24月)	24,000	48,000	72,000	96,000
3年(36月)	36,760	72,760	108,760	144,760
5年(60月)	70,760	140,060	209,360	278,660
10年(120月)	191,030	373,930	556,830	739,730
15年(180月)	349,580	684,280	1,018,980	1,353,680
20年(240月)	552,510	1,081,510	1,610,510	2,139,510
30年(360月)	1,187,530	2,324,530	3,461,530	4,598,530
40年(480月)	2,324,620	4,550,320	6,776,020	9,001,730